

薬草園だより

Vol. 47
September.05

※今年も写真展開催します。
参加希望者は研究室まで

皆さんこんにちは。薬用資源学研究室の新井と申します。今回からしばらくの間、薬草園だよりを担当させていただきます。よろしくおねがいします。

さて、九月に入ったものの、まだまだ暑い日が続きますね。とはいえ夜になれば涼しくなり、徐々に秋の訪れを肌で感じるようになってきました。今回はそんな秋にちなんだ「秋の七草」を紹介したいと思います。

秋の野に 咲きたる花を 指折り かき 数ふれば 七種の花
 およびおり かぞ ななくさ
 はぎ おばな くずばな なでしこ おみなえし ふじばかま あさがほ
 萩の花 尾花 葛花 瞿麦の花 姫部志 また 藤袴 朝貌の花
 山上 憶良 (万葉集・巻八1537-1538)

萩の花：ハギ (マメ科)



生薬名：夜闔門(ヤカンモン)
 薬用部位：全草
 主要成分：ピニトール
 薬効：平喘、止咳、去痰
 花言葉：思案、思い、柔軟な精神

瞿麦の花：ナデシコ (ナデシコ科)



生薬名：瞿麦(クバク)
 薬用部位：全草
 主要成分：サポニン類(ギブソゲニン)
 薬効：消炎、利尿、月経不順
 花言葉：純愛、大胆、勇敢

尾花：ススキ (イネ科)



生薬名：芒茎(ボウケイ)
 薬用部位：茎
 主要成分：多糖類、トリシン
 薬効：利尿、解熱、解毒
 花言葉：活力、精力、心が通じる



生薬名：敗醬(ハイショウ)
 薬用部位：根、全草
 主要成分：サポニン類(スカビオサイドA~G)
 薬効：鎮静、抗菌、消炎、洗血
 花言葉：親切、美人、儂い恋

姫部志：オミナエシ (オミナエシ科)

葛花：クズ (マメ科)



生薬名：葛根(カクコン)
 薬用部位：根
 主要成分：フラボノイド類(ダイジン)、イソフラボン配糖体(プエラリン)
 薬効：解熱、鎮痛、止渴
 花言葉：活力、芯の強さ、治癒



生薬名：蘭草(ランソウ)
 薬用部位：全草
 主要成分：クマリン類
 薬効：利尿、利胆、解熱
 花言葉：ためらい、遅延

藤袴：フジバカマ (キク科)

朝貌の花：キキョウ (キキョウ科)



生薬名：桔梗(キキョウ)
 薬用部位：根
 主要成分：サポニン類(プラチコデインA,C,D)
 薬効：去痰、排膿、鎮咳
 花言葉：変わらぬ愛、気品、誠実

秋の七草は日本独自の文化で、春の七草と違い目で見て楽しむものです。七草を眺めつつ一杯、というのもオツです。ね♪ちなみに秋の七草の覚え方として、「お好きな服は」というゴロがあります。(…衣替えの季節でしょうか?)